

講義名	日本語資格試験講座 【N1対策】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

日本語能力試験(N1)合格と同等レベルの日本語能力を養成する。  
問題解決のコツとポイントを整理する。  
文字読解・文法・聴解・読解の各スキルを網羅する。

**到達目標**

日本語能力試験(N1)の合格を目指す。  
練習問題を解きつつ、自身の弱点補強とレベルアップができるようになる。

**提出課題**

ワークシート、宿題など、授業中もしくはポータル上で随時指示する。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法**

テストや課題について、各自にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

**評価の基準**

授業参加度(30%)、小テスト3回(36%)、期末テスト(34%)

**履修にあたっての注意・助言他**

出欠は毎回とる。  
全授業の1/3以上欠席したものは、試験を受けることができない。  
連続3回で、1回欠席とする。  
15分以上の遅刻は欠席とみなす。  
授業の履修と課題をしっかりとすること。  
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

**教科書**

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

**参考図書**


**その他**

プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。  
<参考文献>  
①パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N1 西岡俊哉ほか アルク  
②ドリル&ドリル日本語能力試験N1文字読解・ユニコム  
③ドリル&ドリル日本語能力試験N1文法・ユニコム

**授業計画**

- 1.オリエンテーション、文字読解  
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 2.文字読解  
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 3.文字読解  
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 4.文字読解  
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 5.文法、および文字読解の小テスト(1)  
予習内容：講義の1回目から4回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 6.文法  
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 7.文法  
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 8.文法  
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 9.聴解、および文法の小テスト(2)  
予習内容：講義の5回目から8回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 10.聴解  
予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 11.聴解  
予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 12.読解、および聴解の小テスト(3)  
予習内容：講義の9回目から11回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 13.読解  
予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 14.読解  
予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)  
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 15.期末テスト

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、本学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**